



鉄道で行く千葉



第20回

小湊鐵道

Kominato Railway



小湊鐵道線を上総中野方面に向けて走るキハ200型車両。
(里見駅^{いたみ}～飯給駅間)



ディーゼル車の響きを楽しみながら 春まっさかりの房総へ。 時間さえゆっくり進む、のどかな路線。

小湊鐵道線は、市原市の中心地にある五井駅から上総中野駅までの39.1キロメートルをつなぐローカル線。起点の五井駅は、JR内房線との共同使用駅となっていて、小湊鐵道線ホームに行くために駅舎から渡る跨線橋（こせんきょう）の付まいにも趣があります。区間内にある18駅のうち10駅は終日無人駅で、なかには大正時代に建てられた当時のままの木造駅舎もあり、旅人気分をかき立ててくれます。五井駅から上総牛久駅間は通勤通学の利用もありますが、そこから終点までは房総の山岳地に行くハイカーや鉄道ファン御用達の雰囲気車内に漂います。車掌さんが車内でキップを確認して回る姿も懐かしい光景です。ひと駅、ひと駅過ぎるたびに街のざわめきが遠ざかっていくのを実感しながら揺られるディーゼル列車。初めて乗車したのに、なぜか懐かしく、こころ癒される鉄道路線です。

History ◆ 小湊鐵道線の歴史

- ◎1917年（大正6年）5月19日
千葉市寒川町にて会社設立。
- ◎1925年（大正14年）3月7日
第一期線営業開始。（五井～里見駅間）25.7km
- ◎1926年（大正15年）9月1日
第二期線営業開始。（里見～月崎駅間）4.1km
- ◎1928年（昭和3年）5月16日
第三期線営業開始。（月崎～上総中野駅間）9.3km
- ◎1928年（昭和3年）8月19日
市原市五井に本社移転。
- ◎2003年（平成15年）12月3日
懐石料理列車運行開始。

小湊鐵道線の養老川に架かる橋を渡るキハ200型車両。
（上総山田駅～光風台駅間）

現在活躍中の小湊鐵道線の車両



キハ200型

小湊鐵道が、既存車両の老朽化に伴う代替と車両を増やすことを目的として1961年（昭和36年）から導入した車両です。ディーゼルエンジンで走る車両で、現在は13両が運用されています。

季節を愛でる特別企画

◆ 懐石料理列車



車両前面には「懐石料理列車」の丸いプレートが付いています。

「車窓を眺めながらお弁当を食べる」というのは列車の旅定番のお楽しみ。小湊鐵道でも、2003年（平成15年）から企画している「懐石料理列車」が変わらぬ人気で、年間20回ほど運行されています。懐石料理も季節ごとに旬の食材を盛り込んだ多彩なメニュー。桜の季節や新緑を愛でながら、あるいは紅葉の車窓を満喫しながら、懐石料理ローカル線の旅情をグループや家族で味わってみてはいかがでしょうか。



車内の様子



料理の一例（イメージ）

- 会費／4,000円（税込）
※五井～養老溪谷駅間往復運賃・料理込
- お申し込み・お問い合わせ
（小湊鐵道 運輸課）
TEL 0436-21-6771

過去の車両

①②③は五井駅車庫に保存されています。（見学可）



①②この2両は「1号、2号機関車」で、大正13年（1924年）に小湊鐵道が翌年の開業に向けて、アメリカから輸入したものです。ボールドウィン機関車会社が製造したもので、昭和31年（1956年）まで活躍した機関車です。

③この機関車は「B型機関車」でイギリスのペイヤー・ビー・コック社が明治27年（1896年）に製造したものを、当時の日本鐵道が輸入し使用していました。昭和21年（1946年）に当時の国鉄から払い下げを受け、昭和25年（1950年）まで使用していました。

「キハ5800」

小湊鐵道が1960年（昭和35年）に導入した車両で、1997年3月31日に正式に現役を退き、現在は機関車の中で保存されています。



オリジナルグッズ



- キハ200型箱入りラスク（左）
キハ200型のかわいいパッケージに入ったラスク。オリジナルシールのおまけ付き。
¥350（税込）
- オリジナル缶入りドロップ（右）
サクマ製菓（株）とコラボレーションのオリジナル商品です。
¥300（税込）

各販売物のお申し込み・お問い合わせは鉄道部運輸課まで!!
TEL: 0436-21-6771

朝夕の通勤・通学時間帯は、2両編成で運行しています。

スペシャルビューポイント



沿線を彩る菜の花のベルト！

房総半島のほぼ中央部を横断するように走る小湊鐵道線の春の風物詩は、沿線に続く菜の花のイエローベルト。毎年、3月下旬から4月にかけては、桜の開花と前後して、菜の花の黄色に染め上げられた景観を走る列車を撮影するために、たくさんの鉄道ファンやカメラマンたちが訪れています。

小湊鐵道線に乗って。

ホームにある事務所で1日フリー乗車券を購入し、8時46分発の列車に乗車。天井に備えられた扇風機がレトロで逆に新鮮です。若い女性の車掌さんはアナウンスしたり、揺れる車内を巧みに歩きながらキップ確認をしたりと大忙し。水田やまばらな住宅地、桜並木や菜の花の畑を通過して停車する駅舎は、どれも小さな木造建築。地元の人に加えて鉄道ファンや取材関係者が何人も乗車していたことが印象的でした。



1日限定で自由に使えるお得なフリー乗車券がおすすめです。



2面2線をもつ上総村上駅を過ぎると、水田が広がる直線コース。さらに進むと、北側には住宅地が形成されています。近年は新興住宅地の造成が進み、新しい戸建住宅も増えています。

五井

- 上総村上
- 海士有木 (あまありき)
- 上総三又 (かずさみつまた)
- 上総山田
- 光風台
- 馬立 (うまたて)
- 上総牛久
- 上総川間
- 上総鶴舞
- 上総久保
- 高滝 (D)
- 里見
- 飯給 (いたぶ)
- 月崎
- 上総大久保
- 養老溪谷 (A)
- 上総中野



二級河川の養老川が見えてきました。路線と何度か交差し、蛇行しながら北上し、五井海岸とその境界から東京湾に注がれます。



高滝駅を出てすぐ左側、人工湖としては千葉県一の広さを誇る高滝湖を臨みます。ワカサギ釣りも楽しめます。



里見駅を過ぎると、木々が茂る山間部の雰囲気。飯給(いたぶ)駅と月崎駅の間で、列車は苜むしたトンネルをくぐります。

旅情あふれる駅舎を訪ねて途中下車してみよう！

●上総鶴舞駅

瓦葺きの木造駅舎は、木枠の窓や室内が見える駅事務所など、大正時代開業時の姿が残っています。2000年10月に「関東の駅百選」に認定され、一躍話題の駅舎になりました。



TVドラマやCM撮影にも数多く登場。



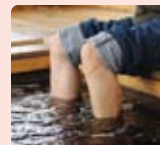
駅舎の外には「関東の駅百選」に選ばれたことを示す記念碑が建てられています。

●養老溪谷駅

養老溪谷や養老溪谷温泉を訪ねる人々が下車する駅。ハイカーが待ち時間に利用できる足湯や休憩コーナーなども充実しています。地域の人々に愛されている駅猫がたくさんいます。



駅舎の白い木の外壁が青空に映えて。



駅舎に隣接して「足湯」があり、小湊鐵道線を利用する人なら無料で楽しめます。

小湊鐵道線で発見したお土産&お手軽グルメ！

五井駅

弁当のやり田

(JR線から小湊鐵道線への入口付近)



●あさり弁当
¥500(税込)

地元の仕出し弁当の店「やり田」が10年ほど前から時間限定で販売するお弁当や惣菜の売店。太巻きや煮玉子、大根煮など家庭料理がパック売りで提供されています。販売する「おばさん」は駅利用者の人気者です。(営業時間:午前8時15分~午後4時)

養老溪谷駅

あさひや

(養老溪谷駅前)



●山菜そば
¥850(税込)

養老溪谷にやってくる観光客相手に50年。鶏ガラと鰹節、野菜を煮込んだ出汁の旨味がスープに生きてクセになる味わいです。地元で採れた山菜に菜の花や竹の子、きのこなど季節感のあるトッピングが嬉しい一品です。

小湊鐵道線で行く、お楽しみスポット! 家族で出かけよう。



沿線を
そぞろ歩き

房総半島中心部を横断するように走る小湊鐵道線の旅。新緑の大自然の中には、途中下車して出かけたいたスポットがいっぱい。レジャーシーズンまった中のこの季節、ぜひチェックして出かけてみませんか?

市原ぞうの国

1989年に湘南動物プロダクションを母体に開園した総面積約3.5ヘクタールの動物園。ゾウを多数飼育しているので「ぞうの国」という名称を付けていますが、ライオンやキリン・ラクダ・チンパンジーなど150種類、約500頭羽の動物がいて、多くの人々に親しまれています。飼育しているゾウによる「ぞうさんショー」では、ゾウ使いの本場・タイからやってきた調教師によって訓練されたゾウたちが見事な芸を見せてくれます。また、平成19年生まれの子ゾウ「ゆめ花(ゆめか)」ちゃんが鼻で絵を描く様子も見られます。



ゾウたちの登場に観客は大喜び。



鼻を上手に使用して絵筆を持つ「ゆめ花」ちゃん。



満開の桜の絵。



筆文字も上手です。

- 開園時間／午前9時～午後5時
- 休園日／毎週木曜日(春・夏・冬休みおよび祝日は営業)
- 料 金／大人1,800円(中学生以上)・小学生900円・幼児(3歳以上)500円
※団体・65歳以上・障がいのある方は割引あり
- 交 通／「上総牛久駅」よりタクシーで15分
※「上総牛久駅」・「高滝駅」より無料送迎バスあり(要前日予約)
- 駐車場／あり【普通車500円(1日)/大型車1,000円(1日)】
- 問い合わせ／0436-88-3001
- 住 所／〒290-0521 市原市山小川937
- 公式サイト(<http://www.zounokuni.com/>)

養老溪谷

夷隅郡(いすみぐん)大多喜町から市原市を流れる養老川によってできた溪谷には、年間を通じて散歩できるハイキングコースが整備されています。春にはツツジやフジ、秋には見事な紅葉が美しく、県内外からやってくる観光客でにぎわいます。また、県道81号(市原天津小湊線)沿いには、旅館などが軒を連ねる養老溪谷温泉郷があり、県内有数の観光地として知られています。養老溪谷駅を降り、宝衛橋～奥養老バンガロー村～弘文洞跡～中瀬キャンプ場～観音橋～出世観音～白鳥橋～養老溪谷駅へと巡る約7.4キロメートルの「バンガロー村・弘文洞跡ルート」や、全長100メートルという溪谷最大の「栗又の滝」から「小沢又の滝」、水月寺に行く約4キロメートルの「滝めぐりルート」が整備されています。



栗又の滝



観音橋



出世観音(養老山立國寺)

- 交 通／「養老溪谷駅」下車
- 問い合わせ／(社)市原市観光協会 0436-22-8355
大多喜町観光協会 0470-80-1146
- 関連サイト
(社)市原市観光協会(<http://www.ichihara-kankou.or.jp/>)
大 多 喜 町(<http://www.town.otaki.chiba.jp/>)

駅前発見! 探してみよう!

養老溪谷駅ホームにある かわいいネズミの石像!

山間の大自然に抱かれた養老溪谷駅のホームには、平成20年の子年に設置されたネズミの像があります。その名も「キハチュー」。この像に、駅に住みついている猫が近づき、なにかを語りかけている様な瞬間を撮影した写真は「関東の鉄道お宝発見コンテスト」で入賞しています(撮影者/千葉市在住の男性)。写真のタイトルは「遊ぼうよ」。ネズミの像は、ユーモラスで、駅を利用する人の心を和ませてくれています。



調べてみよう! 小湊鐵道線クイズ?

小湊鐵道で人気の特別列車 の名称はなんでしょう?

1. カラオケ列車
2. お花見列車
3. 懐石料理列車

※正解は次号紙面で!

※前回のクイズの正解。東西線全30.8kmの距離のうち地上を走る区間は?
「3」13.8kmでした。

写真提供・撮影協力/小湊鐵道(株) 弁当のやり田 あさひや 市原ぞうの国 (社)市原市観光協会 大多喜町観光協会

2011.5(次回発行/2011年6月23日)